-JP 60-39201 U (KANTO SEIKI KABUSHIKI KAISYA) 19 March, 1985 (19.03.85)

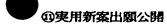
TITLE: The fixing device of a terminal

ABSTRACT:

It is related with the fixing device of a terminal connected to the conductor pattern of a sliding resisting plate.

The terminal which consists of an elastic material is greatly formed a little rather than the fitting hole where this terminal is pressed fit, and a terminal carries out elastic deformation in the two directions, and is firmly fixed to them in a fitting hole.

⑩日本国特許庁(JP)



@ 公開実用新案公報(U)

昭60-39201

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和60年(1985)3月19日

H 01 C 1/14 10/30 H 01 R 9/00

23/36

7303-5E 7303-5E 7227-5E 7905-2F

審査請求 未請求 (全3頁)

図考室の名称

// G 01 F

ターミナルの固定装置

@実 顧 昭58-130589

稔

20出 願 昭58(1983)8月24日

勿考 案 者

日下部

大宮市日進町2丁目1910番地 関東精器株式会社内

⑪出 願 人 以

関東精器株式会社

大宮市日進町2丁目1910番地

00代 理 人

弁理士 谷山 輝雄

外3名

砂実用新案登録請求の範囲

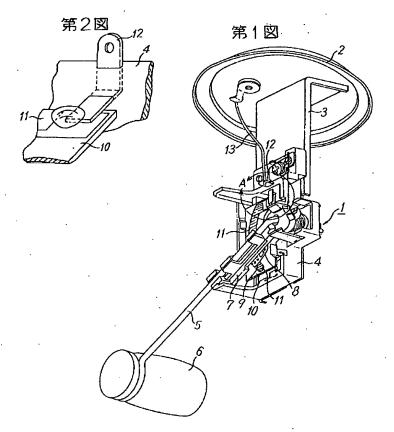
3枚の板状部31a, 31a', 31b, 31 c, 31c',が倒E字状に連なる導電性材料か らなる板ばねの中央部の板状部31bを直立させ て接触片32bを設けるとともに、残りの板状部 31a, 31a', 31c, 31c'の先端部に 係合突起32a, 32a', 32c, 32c'を 設けてターミナル30.30′,30′,30″ を形成し、該ターミナル30,30′,30″。 30 "のハウジング33,33',33'に前記 残りの板状部31a,31a′,31c,31c ′が嵌入する透孔34。34′及び酸透孔34。 34′内に前記係合突起32a,32a′,32 c. 32 c′が係合する係止段部38,38′を 設け、前記残りの板状部31a,31a',31 c, 31c'を前記透孔34, 34'に嵌入して 係合突起32a,32a',32c,32c'を 係止段部38,38~に係合して前記ターミナル 30,30′,30″,30″を前記ハウジング 33.33′に固着して、該ハウジング33.3 3′に固着された配線板10に前記接触片32b を接触させるようにしたことを特徴とするターミ

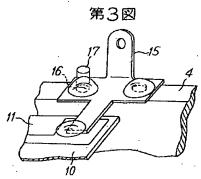
ナルの固定装置。

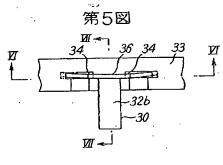
図面の簡単な説明

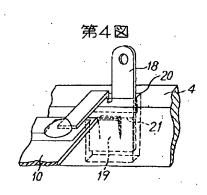
第1図は従来の端子の固定装置を備えた液面計の斜視図、第2図、第3図、第4図は従来のターミナルの固定装置の斜視図、第5図は本考案によるターミナルの固定装置の第1の実施例の平面図、第6図は第5図のVI-VI断面図、第7図は第5図のVI-VI断面図、第7図は第5図のVI-VI断面図、第7図は第5図のVI-VI断面図、第8図は第1の実施例の組立て斜視図、第9図は本考案の第2の実施例の新面図、第10図は本考案の第3の実施例の斜視図、第11図は第10図の平面図、第12図は本考案の第4の実施例の斜視図、第13図は第12図の側面図、第14図は本考案の他の実施例のハウジングの斜視図である。

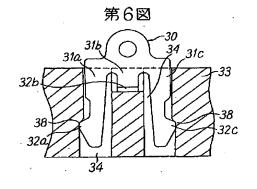
30,30′,30″,30″…ターミナル、31a,31b,31c,31a′,31c′…板状部、32a,32c,32a′,32c′…係合突起、32b…接触片、33,33′,33″…ハウジング、34,34′…嵌合孔、35,35′…切欠部、36…突起体、37…プリント配線板載置面、38,38′…係止段部。

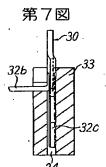


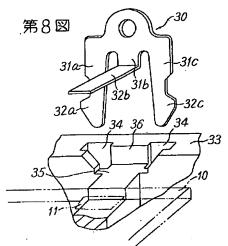


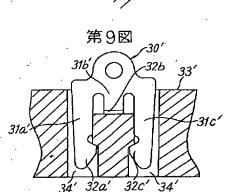


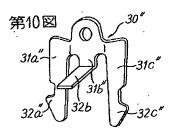


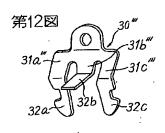


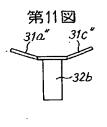




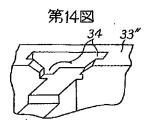


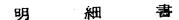












- 考案の名称
 ターミナルの固定装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲

3 枚の板状部(31a,31a',31b,31c,31c',)が倒E字状に連なる導電性材料からなる板はねの中央部の板状部(31b)を直立させて接触片(32b)を設けるとともに、残りの板状部(31a,31a',31c,31c')の先端部に係合突起(32a,32a',32c,32c')を設けてターミナル(30,30',30",30")を形成し、該ターミナル(30,30',30",30")を形成し、該ターミナル(30,30',30",30")を形成し、34,34')及び該透孔(34,34')内に前記係合突起(32a,32a',32c,32c')が係合する係止段部(38,38')を設け、前記残りの板状部(31a,31a',31c,31c')を前記透孔(34,34')に嵌入して係合突起(32a,32a',

公開実用 昭和60─ 39201



32c, 32c') を係止段部(38, 38') に係合して前記ターミナル(30, 30', 30", 30")を前記ハウジング(33, 33') に固着して、該ハウジング(33, 33') に固着された配線板(10)に前記接触片(32b)を接触させるようにしたことを特徴とするターミナルの固定装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案はターミナルの固定装置、特に摺動抵抗板の導体パターンに接続されるターミナルの固定装置に関するものである。

従来、摺動抵抗板が使用された装置といる。 では、 が使用された。 のでは、 パターン11上を摺動し、この抵抗値の変化から液面レベルを検出するようになつている。

そして、導体パターン11の抵抗値の変化信号を取出すにあたつては、第2図に示すようにターミナル12をハウジング4にインサート成形し、このターミナル12の一端を導体パターン11に半田付し、さらにターミナル12の他端にリード線13を半田付して、このリード線13が接続される端子14を経由して抵抗値の変化信号を外部へ取出している。

ところで、このようにターミナル12をハウシング4にインサート成形することは、その成形工程が余分に増えることと、製品が高価になるという欠点があつた。

そこで、この欠点を解決するために、第3回に示すようなターミナル15が提案されている。 このターミナル15は、その基底部に篏合孔 16が一対設けられた構造で、ハウジング4に 実設した突起体17に、この篏合孔16を通し てこの突起体17を熱加締することにより、タ

会開実用 昭和 60─ 39201



ーミナル15を固定するようにしている。

しかしながら、このような熱加締めによるターミナルの固定方式では、工数が増加したり、 熱加締時に突起体17の溶着に伴なつてガスが 発生し、人体のみならず導体パターン11等に も悪影響を及ぼすという欠点があつた。

一方、とのような熱加締方式によらずしてターミナルを固定する方式として、第4図に示すような圧入方式によるターミナル18も提案されている。

このターミナル18は、平板状に形成された 圧入部分に楔状の係合片19が設けられた構造 で、ハウジング4の篏合穴20にターミナル18 の圧入部分を圧入すると、前記係合片19が篏 合穴20中の係合突起21に係止されて、ター ミナル18がハウジング4に固定される。

しかし、このような係合片19を備えたターミナル18では、前述したような悪影響は発生しないが、係合片19が係合突起21に係止されているだけなので、圧入後ターミナル18に

ガタが生じるという問題があつた。

本考案は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、弾性材料からなるターミナルが圧入される篏合孔よりも若干大きく形成し、それによつてターミナルが篏合孔中で2方向に弾性変形されてガタなら 固定されるターミナルの固定装置を提供することを目的とするものである。

以下本考案を第5図乃至第13図に示す実施 例に基づいて説明する。

第5図乃至第8図は本考案の第1の実施例を 示している。

まず構成を説明すると、30は3枚の板状部31a,31b,31cが連なつて倒E字状に形成された導電性材料からなる板はねのターミナルを示し、該板状部のうち、中央の板状部31bは直角に折曲されてブリント板10の導体パターン11にハンダ付けされる接触片32bを形成し、両側に位置される他の2枚の板状部31aと31cの下端部外側には係合突起32a及び32cが突

宏開実用 昭和60-39201

設されている。 3 3 は前記ターミナル 3 0 が嵌合 はれるの 3 3 は前記ターミナル 3 0 が嵌合 される か対を示し、前記左右 1 3 4 が嵌合される 嵌合孔 3 4 が 嵌るして一対 3 2 は前記 でいる。 3 5 は前記 でいかが 3 4 間に形成され、からに切欠かれた 切欠かれるともに、ないが 5 のの 1 3 4 間に形成されるともに、なり切欠ないないのの 3 7 が延設されている。 3 8 は前記 依合 1 3 4 の外側壁面に設けられた係止股部 けられた 係の 1 3 4 間に設けられた係止股部 けられた 係合 2 2 4 3 2 c 間の幅よりも 若干狭くなつている。

次に作用につき説明すると、ターミナル30の左右一対の板状部31a,31cを篏合孔34に挿入すると、一対の板状部31a,31cは互いに内側に弾性変形され、さらに板状部31a,31cの係合突起32a,32cが係合段部38の段部を

越えると、板状部 31 a, 31 c の弾性復元力で 該係合突起 32 a, 32 c が該段部に係止される。 また, ターミナル 3 0 を嵌合孔 3 4 に挿入に手 とき、板状部 31 b の背面がハウジング 3 3 に形 成されている突起体 3 6 の起立に弾圧的に圧 接されながら挿入される。これによつでターミナル 3 0 には、この突起体 3 6 による前後 方向 の弾性変形が生じ、その反発力によつてターミナル 3 0 がその前後方向にガタなくハウジング 3 3 に固定される。

このようにしてターミナル 3 0 をハウジング 3 3 に装着したとき、このターミナル 3 0 に形成されている接触片 3 2 b が、ハウジング 3 3 に形成されている段付のブリント配線板載置面37上に予め載置してあるブリント配線板 1 0 の導体パターン 1 1 に接触することとなり、その位置でのハンダ付けを容易に行うことができる。

以上述べた実施例によるターミナルの固定装置によれば、ターミナル30を嵌合孔34に嵌合することで、該ターミナル30はその前後方

公開実用 昭和6 _ 39201



向と左右方向に弾圧的ガタなく固定されると共 に、プリント配線板10と上記ターミナルとの 接続作業が容易となる効果がある。

第9図は本考案の第2の実施例を示している。 この実施例では第1の実施例とは逆にターミナル30'の一対の板状部31a',31c'を外側方向 に弾性変形させるようにしたもので、一対の板 状部31a',31c'の下端部内側に係合突起32a' 32c'が設けられ、また嵌合孔34'の内側に係合 段部38'が設けられている。

第10図および第11図は本考案の第3の実 施例を示している。

この実施例におけるターミナル30"は、このターミナル30"に形成した左右一対の板状部31a",31c"の付け根部と、その長手方向に沿つて背側に若干折曲している。

即ち、このターミナル 3 0"の 板状部 3 1 a", 3 1 c"をハウシング 3 3 の嵌合孔 3 4 に差し込むと、該板状部 3 1 a", 3 1 c"は嵌合孔 3 4 に沿つて折曲前の形状に戻るように弾性変形される

ので、ターミナル 3 0" の前後方向のガタがなく なる。

第12図及び第13図は本考案の第4の実施 例を示している。

この実施例におけるターミナル 3 0" はこのターミナル 3 0" に形成した左右一対の板状部 31 a" 31 c" を断面への字状に折曲している。

第14図は前記第3の実施例および第4の実施例におけるターミナル30″、30″が嵌合固定されるのに好適なハウジングの一実施例を示し、ハウジング33′の切欠部35′の背面が平板状に形成されている。

即ち、左右一対の板状部 3 1 a", 3 1 a", 3 1 c", 3 1 c", 3 1 c" は嵌合孔 3 4 中で変形前の形状に戻るように弾性変形されるので、ターミナル 3 0", 3 0" の前後方向のガタがなくなる。

以上述べてきたように本考案は、3枚の板状部31a,31a',31b,31c,31c'が倒E字状に連なる導電性材料からなる板ばねの中央部の板状部31bを直立させて接触片32bを設ける

公開実用 昭和60 39201

() - ()

とともに、残りの板状部 31 a, 31 a', 31 c, 31 c' の先端部に係合实起32a, 32a', 32c, 32℃ を設けてターミナル30,30,30",30" を形成し、該ターミナル30,30′,30″,30″ のハウジング33,33,33" に前記残りの 板状部 3 1 a, 3 1 a', 3 1 c, 3 1 c' が 嵌入する透 孔 3 4, 3 4′及び該透孔 3 4, 3 4′内に前記係合突 起32a, 32a', 32c, 32c'が係合する保止段 部38,38を設け、前記残りの仮状部31a, 31 a', 31 c, 31 c' を前記透孔 34, 34'に嵌入 して係合突起32a,32a',32c,32c'を係止 段部38,38′に係合して前記ターミナル30, 30′, 30″, 30″を前記ハウジング33, 33′に 固着して、該ハウジング33,33′に固着された 配線板10亿前記接触片32bを接触させるよう にしたととを特徴とするターミナルの固定装置 であるから、ターミナルは透孔中でその左右方 向と前後方向とに弾性変形されるので、ガタな くハウジングに固定される。

4. 図面の簡単な説明

- 3 3, 3 3', 3 3" … ハウジング
- 3 4, 3 4'… 嵌合孔
- 3 5, 3 5'… 切欠部
- 3 6 … 突起体

3 2 b … 接触片

公開実用 昭和6 39201

<u>: (21)</u>

3 7 … プリント配線板載置面 3 8, 3 8'… 係止段部。

代理人 谷山 輝 雄

本 多 小 平 原語

岸田正行[[[]]]

新部興治學

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

| Ż) | BLACK BORDERS |
|-----------|---|
| \$ | IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES |
| | FADED TEXT OR DRAWING |
| | BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING |
| | SKEWED/SLANTED IMAGES |
| | COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS |
| M | GRAY SCALE DOCUMENTS |
| X | LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT |
| X | REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY |
| | OTHER: |

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.